

向陵だより

~「安全・安心で元気な学校」づくりのために~



自分に自信をもち、仲間の良さを認める

- 10～11月のお届に、放送委員が企画・担当した「教職員のエピソード等を紹介する」という校内放送がありました。その中で私は、童謡『ぞうさん』をリクエストして流してもらいました。10月31日（火）の向陵タイムで、その話をしました。

「お届の放送で、私の紹介のときにかかった歌、覚えていますか。



（低学年の子たちが「ぞうさん！」と反応してくれました。こういう瞬間は、とてもうれしいです）

そう、『ぞうさん』です。かわいらしい歌ですが、実は「いじめはダメだよ」「自分に自信をもって」というメッセージが隠されています。「ぞうさん、ぞうさん、お鼻が長いのね」と、ある動物がいじわるに言います。でも、その子は「ぞうよ、母さんも長いのよ」と言い、「君は首が長いじゃないか」なんて言い返しません。鼻が長いことに、自信をもっています。歌は続きます。さっきとは違った態度で「ぞうさん、ぞうさん、誰が好きなの」と訊く相手に、「あのね、母さんが好きなのよ」と答える…、ステキな歌ですよね。皆さんにも、このぞうさんのように、自分の良さ、友達の良さを認められる心をもち、強く、優しい向陵っ子になってほしいと、私は思っています。そのためにも、

「おはよう、ありがとう、ごめんなさい」

といった言葉を、大切にしてください。言うのに1秒ほどしかからない、短い言葉です。でも、それを言えるか言えないかで、いろいろなことが大きく違ってきます

お互いの違い（個性）を認め合える向陵っ子になってほしいと、強く願っています。

- 今月は、「いじめ把握のためのアンケート」（今年度全3回のうちの2回目）を行いました。結果や取組等の詳しいことについては、後日発行する「生徒指導だより」でお知らせします。本校では、「学校いじめ防止基本方針」にもあるとおり、ささいな兆候であっても組織で共有し、いじめを軽視することなく積極的に認知しています。今回のアンケートからも、いじめ対策推進組織会議を開催し、いじめを認知しています。また、当該児童への相談と指導、保護者との連携を図る等して、注意深く、当該児童の日常的な見守り等を継続しています。

今後も、向陵っ子が安全・安心に学校へ通えるよう、いじめのサインを見逃さず、いじめの未然防止と早期発見、解消に努めていきます。気になることがありましたら、すぐにご相談ください。

<http://www.asahikawa-hkd.ed.jp/kouryou-eis/cat6/>

今年度の重点教育目標

『進んで学び、仲間と共に自律的でより良い生活をつくることができる子どもの育成』

令和5年11月30日（木）

心を育む～読み聞かせ

- 読書月間の取組の一つとして、読み聞かせを各教室で、学校司書や図書委員が行いました。子どもたちは、絵本の世界に引き込まれるとともに、心から会話を楽しめました。



2-2（5年図書委員）



4-1（4年図書委員）



1-1「ともだちや」



6-2「カンナカムイのたたかい」

日

曜

12月の行事予定

| | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※行事予定は変更になる場合があります。

福祉の心を学ぶ～体験学習

- 5年生は総合的な学習の時間で、「福祉」についての理解を深める学習を進めています。その中で、車いすやアイマスク・白杖、高齢者の疑似体験、耳の不自由な方による講座等を実施しました。



この学びを通じて、社会の中に多様性に気付いたり、福祉やボランティアへの関心をもったりする等して、自分が生活する社会に目を向けるきっかけになってほしいと思います。

授業改善の取組② 授業研修会

- 11月20日（月）4・5校時に2学級の授業を本校の教職員が参観し、旭川市教育委員会教育指導課主査様を助言者に迎えた研修会を行いました。



5年1組（学級）が道徳、3年1組（学級）が国語で、これまで積み上げてきた子どもたちの学習に対する姿と学習の進め方について公開しました。授業はそれぞれ、子どもの思考に即した様々な手立てを講じ、一人一人がじっくりと考え、互いに学び合う時間になりました。



※学校（51-5488 特別支援教育コーディネーター）までお問い合わせください。

授業改善の取組①「英検ESG」の実施

- 旭川市では、昨年度から全小学校6学年で「英検ESG」を取り組んでいます。本校でも今月実施しており、学習到達目標の達成状況等を確認するために、今後の授業で活用していきます。



今後は、本研修で得た成果と課題を、育成すべき資質・能力と照らし合わせながら、更なる向陵っ子の成長のために生かしてまいります。